

平成26年10月18日

広島通信三田会長 迫田勲

平成26年秋季全国通信三田会幹事会資料

1、始めに

8月20日、広島市北部で発生した大規模土石流災害では清家塾長様、蠣崎部長様、又全国の多くの塾員の皆様からご心配、お見舞いのお言葉など頂き、塾、三田会のありがたさを改めて痛感しました。ありがとうございました。

人生は無常、病気、けが、予測できない自然災害、事故等、誰も明日の命の保証はありません。

今年もこうして慶應の縁で結ばれた全国各地の友に三田や日吉で出会い、再会でき、共に語りお酒を飲み交わすことができる、無上の喜びです。お世話をして頂いた役員各位に感謝します。

2、 広島通信三田会概要

- (1) 会員数22名 退会5人、入会1人(昨年度26名)
- (2) 広島県内26年卒業生3名中1名入会(他は音信不通と転居先不明)
- (3) 活動状況(予定を含む)
- (4) 4月26日 総会
4月12日、13日 四国合同交流会IN徳島 参加者2名(迫田、瀬戸田)
6月14日 会報みやじま44号発行
(尚9月6日開際予定の近隣との交流会(熊野筆センター)は災害対応のため中止した。)
8月1日 広島慶應倶楽部総会、懇親会 参加者 通信関係者8名(山口2名を含む)
11月9日 役員会、新塾員歓迎昼食会、会報みやじま第45号発行
3月29日 役員会、会報みやじま第46号発行

3、 雑感

- (1) 通信三田会に多くの会員の参加ができるように
通信三田会は、慶應義塾社中の一員として、会員(塾員)相互の親睦、連絡、情報交換、又生涯学習を通じて(社会や)義塾の発展に寄与することを目的としている。(規約第3条目的)
塾員として品位を保ち、仲良く、学び、交流し、楽しい三田会にしましょう。
思い出ある三田の丘や日吉の柱に出入りできる誇り、旧友との再会、新しい塾員との出会い、通信三田会はサイコー、この喜びを幹事会以外の多くの会員とシェアしたいものである。
- (2) 通信三田会活動の方向性
会員の高齢化、地方の会員減少が課題、各地の活動報告から各通信三田会の活動を整理した。
活動が地区外、又慶應倶楽部へと広がり、広域、多様化、会員の参加の機会が増えた。
 - ① 地区単独活動への参加(ホームはこれであるが、会員の高齢化などのため運営が課題に)
就中、京滋通信三田会の活動は特筆、参考になる。京都の歴史、文化などの地域資源を生かし元塾員が経営する老舗旅館の幾松を定例会場に京料理、門前清掃の奉仕活動、慶應倶楽部との交流等の活動は魅力的、地区外からの参加、ファンが多い。
 - ② 会員数が多く早稲田や海外三田会とも活発な活動をしている東京や神奈川への参加
 - ③ ブロック別合同通信三田会、地区〇〇周年事業、地方で開催する春季全国幹事会への参加
 - ④ 近隣三田会の持回りによる合同開催への参加
 - ⑤ 慶應倶楽部との交流(慶應倶楽部総会、懇親会、行事への参加、講演会講師の招聘、通信三田会の行事等への案内など)